

第 5 学 年 音 楽 科

教科目標

- ① 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- ② 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
- ③ 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ こいのぼり	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を想像し、旋律の特徴を味わって表現する。
	○ 音の重なりとひびき ・ 茶色のこびん ・ こきょうの人々	4	
5	○ 広がれ歌の輪 ・ 歌をとどけよう ・ 花のおくりもの"	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律と低音がつくる音の重なりを感じ取って表現する。 ・ 和音がつくる音の響きを感じ取って表現する。
	○ アンサンブルのみりよく ◎ いろいろな合唱 ・ ハロー・シャイニングブルー ◎ 「カレリア」から「行進曲風に」 ・ 星笛	7	
6	○ オークストラと合唱のひびきを 楽しもう ◎ 歌げき「イーゴリ公」から「ダ ッタン人のおどり」と合唱 ・ 風のつばさ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の声の持ち味を生かし、全体の響きや伴奏を聴きながら歌う。
	○ 言葉と音楽 ◎ 星とたんぼぼ ・ 赤とんぼ ◎ 山田耕筰の歌曲	3	
7	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ びわ湖周航の歌 ・ 待ちぼうけ ・ ちいさい秋みつけた	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声や楽器の音色をとらえ、音の重なりや響きを味わいながらアンサンブルの演奏を聴く。 ・ 曲の仕組みを理解し表現の工夫をしながら、アンサンブルを楽しむ。
	○ 音のスケッチ ・ 言葉のイメージから音楽をつくる	3	
8	○ 言葉と音楽 ◎ 星とたんぼぼ ・ 赤とんぼ ◎ 山田耕筰の歌曲	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ詩をもとにつくられた二つの曲の、それぞれの特徴を感じ取って聴く。 ・ 情景を想像し、旋律の特徴を味わって表現する。
	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ びわ湖周航の歌 ・ 待ちぼうけ ・ ちいさい秋みつけた	2	
9	○ 音のスケッチ ・ 言葉のイメージから音楽をつくる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音色や旋律などを味わいながら、舞台芸術を楽しむ。
	○ 言葉と音楽 ◎ 星とたんぼぼ ・ 赤とんぼ ◎ 山田耕筰の歌曲	3	
10	○ 日本民謡マップ ◎ 日本の民謡と子もり歌 ・ はやしことばメドレー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代をこえて長く親しまれている愛唱歌としての音楽の旋律や音色などを味わって聴く。
	○ 音のスケッチ ・ インターロッキングの音楽に チャレンジ ◎ ケチャ ほか	2	
11	○ 日本の楽器をたずねて しの 笛のみりよく ◎ 長唄「越後獅子」から ・ 「かりかりわたれ」から	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篠笛という楽器を知り、音色や奏法から醸出される独特の表現を感じ取る。
	○ 音楽の旅 ・ 子もり歌 ・ 谷茶前 ◎ 世界の音楽	6	
12	○ 日本の民謡マップ ◎ 日本の民謡と子もり歌 ・ はやしことばメドレー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現や鑑賞を通して、日本の民謡や子守歌に親しむ。 ・ いろいろな国の音楽に親しみ、様々な特徴を感じ取るとともに、日本の音楽の特徴やよさに気付く。
	○ 音のスケッチ ・ インターロッキングの音楽に チャレンジ ◎ ケチャ ほか	2	

12	○ 豊かな表現を求めて ・ 風とケーナのロマンス ・ 冬げしき	4	・ 拍の流れによって、フレーズや旋律の流れを生かして表現する。 ・ 季節の変化や自然を感じて、情景を想像しながら表現する。
1	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ スキーの歌	1	・ 楽曲の情景や心情を想像し、表情豊かに表現する。
2	○ 音楽のききどころ ◎ ピアノ五重奏曲「ます」 第4楽章	3	・ 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いをとらえ、変奏曲を楽しむ。 ・ 主題や伴奏がどのように変化しているかを探りながら、曲想を感じ取る。
3	○ 心を合わせて ・ ルパン三世のテーマ	5	・ 互いのパートを聴き合い、自分のパートの役割をとらえて演奏する。 ・ 楽曲の魅力を味わったり、曲想を感じ取ったりし、友達と表現の工夫をしながら演奏する。
授業時数の合計		50 時間	

音楽科の評価

観点	評価基準	評価方法
音楽への 関心・意欲・態度	創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 学習の様子 ・ 歌唱や演奏、音楽づくり、鑑賞中の様子や内容 ・ 音楽ワーク ・ テスト など、総合的に評価します。
音楽表現の創意 工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を持っているかどうかという観点から見ます。	
音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いているかどうかという観点から見ます。	